

イグ・ノーベル賞、日本の研究が 20 年連続受賞！ 公式イベント「Ig Nobel Face-to-Face 2026 in JAPAN」開催 2026 年受賞者とノーベル賞受賞者・吉野彰氏が科学の魅力を語る

にっぽんかがくみらいかん
日本科学未来館（略称：未来館、館長：浅川智恵子）は、イグ・ノーベル賞の公式イベント「Ig Nobel Face-to-Face 2026 in JAPAN」を 2026 年 9 月 20 日（日）に開催します。今年も日本の研究がイグ・ノーベル賞に選ばれ、日本人研究者による 20 年連続受賞という快挙を達成しました。本イベントには、2026 年のイグ・ノーベル化学賞の受賞者であるレオナルド・シャバス氏と、イグ・ノーベル医学賞受賞者である故・海野徳二氏の代理として同賞授賞式に出席した高原幹氏を迎えます。さらに、2019 年のノーベル化学賞受賞者である吉野彰氏も登壇し、イグ・ノーベル賞受賞者とノーベル賞受賞者が一堂に会します。当日は、研究の面白さや発想の源泉、探究心の大切さについて語り合い、科学の魅力を多角的に伝えます。また、オープニングでは、イグ・ノーベル賞の名物企画として知られる「紙飛行機飛ばし」を実施。登壇者と参加者がともに紙飛行機を飛ばし、笑いと好奇心に満ちたイグ・ノーベル賞ならではの世界観を体感できます。



紙飛行機飛ばし（前回のイベントの様子）

開催概要

イベント名：イグ・ノーベル賞公式イベント「Ig Nobel Face-to-Face 2026 in JAPAN」

開催日時：2026 年 9 月 20 日（日）13:00～15:00

開催場所：日本科学未来館 7 階 未来館ホール

対象：小学生高学年以上推奨

参加人数：250 人（事前申込制、先着順）

参加費：無料（入館料も不要） ※常設展や特別展、ドームシアターの鑑賞は別料金

登壇者：レオナルド・シャバス氏（デクトリスジャパン株式会社 代表取締役）

高原幹氏（旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 教授）

宮下芳明氏（明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 教授）

吉野彰氏（旭化成株式会社 名誉フェロー）

言語：日本語

主催：日本科学未来館

イベントページ：<https://www.miraikan.jst.go.jp/events/202609204727.html>

一般からの
お問い合わせ先

日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-6

TEL 03-3570-9151 FAX 03-3570-9150 URL <https://www.miraikan.jst.go.jp/>

メディアからの
お問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 日本科学未来館 経営戦略室 広報

EMAIL press-miraikan@jst.go.jp TEL 03-3570-9192 FAX 03-3570-9150

イベント概要

「笑わせて、考えさせる」研究の祭典

イグ・ノーベル賞は「人々を笑わせ、そして考えさせる研究」に贈られるユニークな国際賞です。毎年約 10 件の研究や業績が選ばれ、世界中の研究者や一般の人々から注目を集めています。

2026 年で第 36 回を迎えるイグ・ノーベル賞は、日本人研究者が 20 年連続で受賞するなど、日本との関わりが深く、国内でも広く知られています。

「Ig Nobel Face-to-Face」は、2023 年に米国でスタートしたイベントで、同年から未来館が日本版を開催し、今回で 4 回目となります。近年は英国、ドイツ、フランスなど世界各国にも広がっています。

未来館は、本イベントを通じて「素朴な疑問から生まれる科学」の面白さや奥深さを伝え、多様な世代が科学技術を身近に感じ、新たな発見や探究心を育むきっかけを提供します。



イグ・ノーベル賞公式ビジュアル
©Improbable Research

イグ・ノーベル賞受賞者とノーベル賞受賞者が語る、研究の面白さ

イベントには、「胎生ゴキブリ由来の乳タンパク質が、牛由来の乳タンパク質の 3 倍のエネルギーを蓄えていることを発見した功績」で 2026 年のイグ・ノーベル化学賞を受賞したレオナルド・シャバス氏、「鼻をかむ方法に関する研究」で 2026 年のイグ・ノーベル医学賞を受賞した故・海野徳二氏の代理で同賞授賞式に出席した高原幹氏が登壇します。また、「電気を流した箸やストローで食品の味を変える実験」で 2023 年にイグ・ノーベル栄養学賞を受賞した宮下芳明氏、さらに「リチウムイオン電池の開発」により 2019 年にノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏も登壇します。

世界を驚かせた独創的な研究から、社会を大きく変えた革新的な研究まで、イグ・ノーベル賞受賞者とノーベル賞受賞者が一堂に会し、「科学する、とは何なのか」をテーマに、研究の面白さや発想の源泉、探究心の大切さについて語り合います。



トークセッション（前回のイベントの様子）

イベントプログラム

●オープニング「紙飛行機飛ばし」

参加者に紙飛行機を折っていただき、全員でいっせいに舞台上の的に向かって紙飛行機を飛ばします。

●第1部：受賞研究者によるスピーチ

研究の背景や発見の核心を、研究者本人から直接聞きます。

●第2部：トークセッション

イグ・ノーベル賞、ノーベル賞を受賞した研究者が、「科学する、とは何なのか」をテーマに語り合います。論文には記されないエピソードや研究者の人となりに触れられる、このイベントならではの対話をお届けします。

イベントの最後には受賞者のサイン入りグッズが当たる抽選会も行います。

<登壇者（登壇順）>

- ・レオナルド・シャバス氏（デクトリスジャパン株式会社 代表取締役）
イグ・ノーベル化学賞（2026）「胎生ゴキブリ由来の乳タンパク質が、牛由来の乳タンパク質の3倍のエネルギーを蓄えていることを発見した功績」
- ・高原幹氏（旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 教授）※故・海野徳二氏の代理として授賞式に出席
イグ・ノーベル医学賞（2026）「鼻をかむ方法に関する研究」
- ・宮下芳明氏（明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 教授）
イグ・ノーベル栄養学賞（2023）「電気を流した箸やストローで食品の味を変える実験」
- ・吉野彰氏（旭化成株式会社 名誉フェロー）
ノーベル化学賞（2019）「リチウムイオン電池の開発」



レオナルド・シャバス氏



高原幹氏



宮下芳明氏



吉野彰氏

<司会>

- ・古澤輝由氏（インプロバブル・リサーチ / イグ・ノーベル賞 日本担当ディレクター / 立教大学 理学部 SCOLA 特任准教授）

<ファシリテーター>

- ・灘綾乃（日本科学未来館 科学コミュニケーター）